

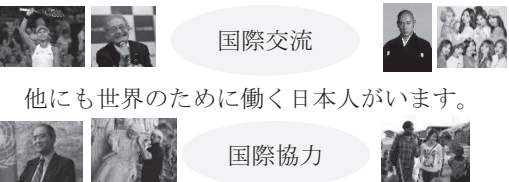




国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

【実践者】 染谷 惇志

授業者氏名	染谷 惇志	学校名	札幌市立前田中央小学校
教科（科目）・領域	社会	対象学年（人数）	6年 1組（28名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2020年 2月 ～ 3月（7時間）		

【実施概要】

1. 単元名（活動名）：世界の未来と日本の役割					
2. 実施する教科・領域： 社会科	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	B グローバル社会	相互依存	情報化		
	C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加		
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）： 我が国の国際交流や国際協力の様子及び、平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働きについて、具体的事例を通して意欲的に調べ、世界平和の大切さと、我が国が世界において重要な役割を果たしていることを理解するとともに、世界平和や我が国の役割の大切さを考えようとする。					
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	地図や地球儀、その他の資料を活用して調べることを通して、我が国の国際交流や国際協力の様子、国際連合の働きを理解し、意見文にまとめることができる。			
	②思考力、判断力、表現力等	我が国の国際交流や国際協力の様子、国際連合の働きなどについて調べ、調べたことを比較したり、関連づけたりして、我が国が世界において重要な役割をしていることを考え、表現することができる。			
	③学びに向かう力、人間性等	我が国の国際交流や国際協力、国際連合の働きに関心を持ち、世界平和の大切さ、我が国が世界において重要な役割を果たしていることの大切さを考えようとしている。			
6. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	【単元設定の理由】 近年、世界的にグローバル化が進み、世界とのつながりは切っても切り離すことはできない。しかし、このことを日常生活で実感する機会は少ないだろう。したがって、世界の国々は支え合っていて、その中でも我が国は重要な役割をもっていることを伝えたい。そのため、本単元では、我が国の国際交流や国際協力の様子、国際連合の働きの具体的な事例を取り上げて学習を進めていく。				
	【単元の意義】 今回の教師海外研修で出会った協力隊の活動や隊員たちがもつ思い、キルギスの人たちの生活や文化など具体的な事例を紹介することで、児童が世界の国が支え合っていることに気づき、互いの文化を尊重し、理解できるようになる。				
	【児童/生徒観】 ノートやワークシートには自分の考えを記入しているのだが、自分の考えに自信をもつことができず、学級の前で発表することができない児童が多い。しかし、少人数での意見の交流は活発に行う。少人数で考えを伝えあうことは好きなようだ。また、K-Popや食べ物など、外国の文化などに興味をもっている子が多い。家庭学習では、興味をもっていることを調べ、ノートにまとめて学習をする児童が多い。				
	【指導観】 前単元では、様々な国と日本とのつながりについて調べている。既習を生かして学習を進めることで、世界の国々は互いに支え合っていることに気付かせたい。また、具体的な事例を写真や動画などの視覚的教材を効果的に用いることで、興味・関心が高まるようにする。友達と自分の考えを交流する時間を確保し、考えを深められるようにする。世界の国々は互いに支え合っているから、互いの文化を尊重し、理解し合わなければならないという意識を養っていききたい。				

7. 単元計画 (全7時間)			
時	ねらい	学習活動	資料など
1	国際交流や国際協力に関わる日本人の活動に関心を持ち、学習問題を考え、表現する。	<p>世界で活躍する日本人にはどんな人がいるだろう。</p>  <p>国際交流</p> <p>他にも世界のために働く日本人がいます。</p>  <p>国際協力</p> <p>日本がリーダーとなって、困っているアフリカの国に支援しているよ。</p>  <p>アフリカ開発会議</p> <p>スポーツ選手や科学者など、国際交流や国際協力をしている日本人がいる。</p> <p>日本の人々は、世界の人々と協力して、どのような活動をしているのだろう。</p> <p>予想してみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドで、代表的な人物を紹介する。 ・教科書に登場する国際協力を行う日本人を紹介する。 ・スライドで、キルギスで活動する隊員を紹介する。 ・日本が中心となって国際協力を行っていることが分かる教科書の写真を提示する。
2	国際連合のさまざまな機関とその活動から、世界の平和と安全を守っていることを読み取り、まとめる。	<p>国際連合は、どのような働きをしているだろう。</p> <p>国際連合憲章</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の平和と安全を守り、国と国との争いは、話し合いによって解決する。 ・すべての国は平等であり、世界の国々がなかよく発展していくことを考える。 ・経済や社会、文化などの点で起きた問題を解決するために、各国は協力する。 <p>世界平和のために働いているのかな。</p> <p>戦争が起きないようにしていると思う。</p> <p>国連機関の働きを調べよう。</p> <p>ユニセフは、困っている子どもを助けているね。</p>  <p>ユネスコは、世界遺産を管理したりしているよ。</p> <p>日本は、ユニセフの支援を受けていたことがあるんだね。</p> <p>国際連合は、世界の平和や安全を守るために、困っている国や人に国連機関を通して支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連合の働きを考えるために、教科書の資料を提示する。 ・教科書や資料集を使って調べるように指示する。 ・ユニセフ職員の中村さんの活動を紹介する。
3	世界平和の大切さと、我が国が世界において重要な役割を果たしていることを理解する。	<p>世界ではたくさん戦争が起きているね。</p>  <p>西アジアやアフリカが多いね。</p> <p>平和な世界を実現するために、国際連合を中心に、どのようなことが行われているだろう。</p> <p>自衛隊が壊れた道路を直しているよ。</p> <p>自動車の整備の方法を教えているよ。</p> <p>緒方さんは難民を助ける仕事をしていたね。</p> <p>国際連合や日本は、戦争が起きていた国が少しでも早く復興するように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような地域で戦争が起きているか調べるために、教科書の資料を提示する。 ・誰がどのような支援をしているか調べるために教科書やスライドで写真を提示する。

<p>4</p>	<p>地球環境の悪化を防ぎ、持続可能な社会を実現するために、国際連合を中心として、様々な努力をしていることを理解する。</p>	<p>世界にはどのような環境問題があるだろう。</p> <p>地球温暖化 酸性雨 砂漠化 大気汚染</p> <p>世界の人々は、地球の環境を守るために、どのような努力をしているだろう。</p> <p>国際連合は、持続可能な社会を目指すために、SDGs という目標を設定しました。</p> <p>コンビニから SDGs を考えよう。</p> <p>ゴミ箱は 14 や 15 に関係ありそうだな。 作るのはいいけど、余ったらもったいないね。</p> <p>募金は、いろいろな目標に当てはまりそうだな。</p> <p>様々な企業で SDGs を達成するための取組をしています。</p> <p>国際連合で SDGs という目標を定め、様々な企業や組織が目標達成のための取組をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドで、SDGs にはどんな目標があるか説明する。 ・コンビニの写真から SDGs を達成するための工夫や課題を考えさせることで、SDGs を身近なこととして捉えられるようにする。 ・スライドで様々な企業で SDGs を達成するための取組をしていることを紹介する。
<p>5 本時</p>	<p>カラ・シャル村の人の生活を踏まえて青年海外協力隊の働きを考えることで、国際協力をするときにはその国の事情を考えなければならないことを理解する。</p>	<p>カラ・シャル村の人は、どのような生活をしているだろう。</p> <p>収入が少なく、出稼ぎに行く人が多かったです。</p> <p>青年海外協力隊の人たちは、どのように国際協力をしているのだろう。</p> <p>予想しよう。</p> <p>フェルト製品を作っていたんだね。</p> <p>働いている人と相談しながら、勤務時間や作る個数を決めています。</p> <p>工場のおかげで、出稼ぎに行かず、家族と一緒に生活することができてうれしいです。</p> <p>青年海外協力隊の人たちは、その国の事情を考えて国際協力している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カラ・シャル村の写真 ・カラ・シャル村の人の写真 ・工場の写真・映像 ・北島さんとカラ・シャル村の人の写真
<p>6</p>	<p>我が国は、世界の多くの国や地域と、政治や経済の面だけではなく、文化やスポーツの分野でも盛んに交流していることを理解する。</p>	<p>スポーツや文化を通じて世界の国と交流しているね。</p> <p>様々な文化をもつ人と、どのように交流していけばよいだろう。</p> <p>バーンガをしよう。</p> <p>ルールが違う人と関わるのは難しいな。 相手の文化を認める気持ちが大切だね。</p> <p>スポーツや文化を通じて交流し、互いの文化を理解する気持ちが大切だ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なところで国際交流をしていることに気付かせるために、キルギスでの学校訪問の写真やオリンピックの写真を提示する。 ・トランプやルール用紙、スライドを用意してバーンガをする。
<p>7</p>	<p>調べたことを比較したり、関連づけたり総合したりして、我が国が世界において重要な役割を果たしていることを考え、世界の平和と発展のため、日本、自分ができることを意見文にまとめよう。</p>	<p>学習したことをもとにして、世界平和と発展のために、日本や私たちができることを意見文にまとめよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート

8. 本時の展開（5時間目）

本時のねらい：カラ・シャル村の人の生活を踏まえて青年海外協力隊の働きを考えることを通して、国際協力をするときにはその国の事情を考えなければならないことを理解する。

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料（教材）
導入 (10分)	<p>カラ・シャル村の人はどのような生活をしているだろう。</p> <p>①キルギスにカラ・シャルという村がありました。</p>   <p>②羊や馬を飼い、生活していました。</p>   <p>③家の庭ではくだものを植えていました。</p>   <p>④農業だけでは生活できず、外国へ出稼ぎに行っていました。</p>	<p>・カラ・シャル村の人の生活を紙芝居形式で紹介する。</p> <p>・農業や牧畜で生活していたが、収入が少なく、海外へ出稼ぎに行かなければならなかったことを確認する。</p>	<p>・カラ・シャル村の写真</p> <p>・カラ・シャル村の人の写真</p>
展開 (35分)	<p>青年海外協力隊の人たちは、どのように国際協力をしているのだろう。</p> <p>予想しよう。</p> <p>お金をあげているのかな。 農業を手伝っているのかな。 違う仕事をする場を作ったのかな。</p> <p>どんなことをしているだろう。</p>    <p>何を作っているのかな。食べ物かな。 手作業で丁寧に作っているね。 形を整えているね。 フェルト製品を作っていたんだ。</p>  <p>働いている人と相談しながら、勤務時間や作る個数を決めています。</p> <p>工場のおかげで、出稼ぎに行かず、家族と一緒に生活することができてうれしいです。</p>  <p>働いている人の生活をよく考えているね。 お金を稼げるし、家族と暮らせていいね。</p> <p>他にも活動している人がいるよ。</p>  <p>私は、キルギスの学校で道徳を教えています。また、キルギスの役所の人と協力して、授業の方法や内容を教える研修会を開いています。上から目線にならないように、伝え方に気を付けています。</p>	<p>・写真を配付し、カラ・シャル村の人たちがどんなことをしているか、グループで考えさせる。</p> <p>・工場の様子を映像で提示する。</p> <p>・青年海外協力隊がどのように支援しているか考えられるようにするため、北島さんとカラ・シャル村の人の話を提示する。</p> <p>・北島さんの他にも、活動している人がいることを紹介することで、支援するときの想いの一般化を図る。</p> <p>・北島さん、本田さんの言葉をマスキングして、入る言葉を考えさせることで、どのような思いで国際協力をしているのか迫れるようにする。</p>	<p>・作業している写真</p> <p>・作業の映像</p> <p>・北島さんの写真</p> <p>・カラ・シャル村の人の写真</p> <p>・本田さんの写真</p>
まとめ	<p>青年海外協力隊の人たちは、その国の事情を考えて国際協力している。</p>		
(45分)	<p>振り返り</p>		

9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）

カラ・シャル村の写真から、青年海外協力隊の国際協力を読み取ることができた。（ノート）
国際協力をするときに大切なことを考え、表現できた。（ノート）

<p>10. 学習方法および外部との連携</p> <p>本単元では、キルギスでの研修で学んだことを教材にして学習を進める。しかし、キルギスは児童にとってあまり馴染みのない国である。そこで、前単元や本単元で写真や映像、ゲームを通してキルギスの紹介や私が研修で学んだことを児童に伝えた。可能な限りキルギスの国の様子を知った上で本時の学習を行えるようにする。国際協力は、キルギスだけでなく世界各地で行われており、青年海外協力隊以外にも NGO などが活動している。今回授業で扱ったのは、その中のほんの一例であることを児童に伝える。</p>
<p>11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み</p> <p>本単元を、私が受け持つ学級だけではなく、他の学級でも行う予定だった。また、校内で公開授業とすることで、私の実践を広める予定だった。(新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休校で実施できず。)</p>

【自己評価】

<p>12. 苦勞した点</p>	<p>キルギスでは、たくさん写真や動画を撮影し、協力隊や現地の人たちの想いを知ることができた。どの写真も児童に見せたいし、想いを伝えたい。でも、そればかりでは、教師からの一方的な授業になってしまう。児童が体験や対話を通して学ぶ授業にするための手立てを考えることに時間がかかり苦勞した。私は、教師海外研修に行く前は、「青年海外協力隊という人たちが、どんな想いをもち、どんな活動をしているか。」を学ぶ授業を考えていた。写真やインタビュー動画を用いて紹介しようと思っていたのだが、それでは教師からの一方的な授業になってしまう。そこで、過去の実践例や事前研修、共に研修に参加した教員の意見を参考にして、今回のような授業を考えた。</p>
<p>13. 改善点</p>	<p>子どもたちにとって難しい語句やイメージしにくい事象をどこまで説明するか、その線引きが難しい。説明しなければ児童は分からない、説明すれば児童は難しいと感じてしまう。教科書をよく読み、ポイントをしばって学習を進めることが大切だと感じた。</p> <p>1時間の授業に、活動をたくさん詰め込んでいるところも改善すべきである。私は、できるだけ教科書に沿うように意識して学習活動を考えた。その結果、1時間にたくさんの活動を設定してしまった。単元全体の目的、1時間の授業のねらいをしっかりとをもって教材研究するべきだった。</p>
<p>14. 成果が出た点</p>	<p>実践前は「国際協力」や「国際交流」というものを、ただ漠然と考えていた児童が多かった。しかし、この実践や国際理解についての道徳の学習を経て、児童が何をすることが国際協力・国際交流になるのか具体的に考えられるようになった。</p> <p>資料を読み取る力、根拠をもとに考える力を高めた児童が多かった。「世界には貧しい国がある。」ということを知っている児童は多かったのだが、「どこの国が、どのように貧しいか。」と質問しても、答えられる児童はほとんどいなかった。しかし、ハンガーマップや鶴田真由さんの活動を通して「特にアフリカの国が、食料が不足して貧しい。」と自分の考えを記述できる児童が増えた。</p> <p>具体的に考えられるようになったり、根拠をもとに自分の考えを述べたりすることができる児童が多くなったことが、この実践の成果である。</p>

<p>15. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)</p>	<p>1時間目の「日本の人々は、世界の人々と協力して、どのような活動をしているのだろう。」の問いに対しての振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の貧しい人たちに食料や水をあげたり、一緒に遊んだりして、少しでも笑顔をつくろうとすることが国際協力だと思う。 ・食べ物や飲み物が少なく、困っている国の人々に募金したりしている。 ・戦争で貧しい生活をしている国に支援するというのも国際協力だと思う。 ・鶴田さんのように食料が足りない国や、戦争が起きている国を支援している人は、日本人だけでなく、世界にたくさんいると思う。 ・他の国で災害などが起きたときにすぐに助けに行くのも国際協力だと思った。 ・その国のためにしてあげられることをすることが国際協力だと思う。 ・先生がキルギスに行った時に、キルギスの人と交流しているから、それも国際交流だと思います。
<p>16. 授業者による自由記述</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大に伴う臨時休校の影響で、本単元7時間のうち、1時間しか実践することができなかった。非常に残念である。しかし、私はこの単元だけではなく、別な教科の時間を使って、教師海外研修で学んだことを活用した授業を行った。その1つが道徳での授業である。</p> <p>道徳の教科書に、ネパールで日本の農業を広めた西岡京治さんの話があった。西岡さんは、日本のやり方を押し付けるのではなく、現地の人々の理解を得ながら活動していた。「相手の国の人々のことを考えながら活動する」というのは、私がこの教師海外研修で最も印象に残っていることであり、国際協力をする上で最も大切なことであると思う。「国際協力」という言葉の意味を深めるために、私が行った道徳の授業では、キルギスで出会った中村さんや本田さんを紹介した。教科書に出てくる人物だけではなく、教師である私が出会った人を紹介したことで、子どもたちはとても興味をもち、熱心に考えていた。授業の振り返りでは、「ただ技術を教えるだけじゃだめだと分かった。」「外国の人の気持ちを大切にすることが大切だ。」という記述があり、授業のねらいに迫る姿を見ることができた。</p> <p>また、冬休み明けすぐに「先生の自由研究」として、ペア作りゲームを行った。事前研修で学んだ活動を、キルギス風にアレンジしたものである。日本の文化のカードとキルギスの文化のカードを合わせるゲームである。子どもたちは、悩みながらも楽しく活動していた。一人で考えている子もいれば、友達と相談している子もいたり、互いに意見を交わしている子もいたりした。何でもゲームにすれば良いわけではないが、ゲームを通して対話が生まれ、考える姿が見ることができた。目的達成のために、手段の一つとしてゲームを取り入れることは有効だと改めて感じた。</p> <p>さて、上でも述べたが、私は1時間しか授業実践をすることができなかった。私は、世界には様々な国があること、異文化を体験したり、学んだりすることは楽しいこと、遠く離れた外国の地で現地の人々のために尽力している日本人がいることなど、児童に伝えたいこと、考えさせたいことがたくさんあった。この思いや教師海外研修での経験を風化させず、次の機会、これからの指導に生かしていきたい。</p>

参考資料：

世界の未来と日本の役割 ①

世界で活躍する日本人には
どんな人がいるだろう。

八村塁選手
の写真

TWICE
の写真

市川海老蔵さん
の写真

吉野彰さん
の写真

スポーツや学問、文化で
世界の国々とつながること

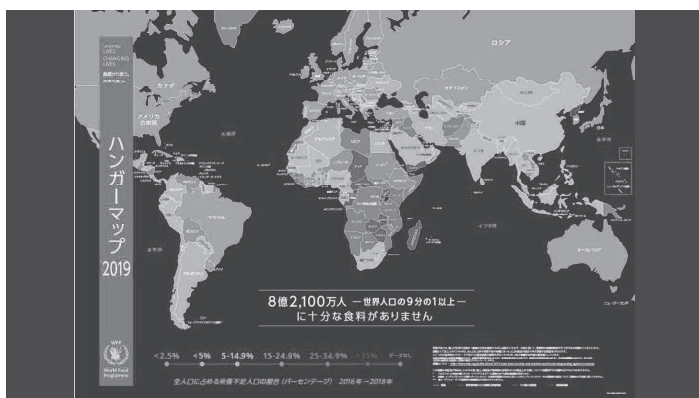
国際交流

松浦晃一郎さん
の写真

鶴田真由さん
の写真

松浦晃一郎さん

鶴田真由さん



第7回アフリカ開発会議
の写真

世界の国々のために働くこと

国際協力

西岡京治さん
の写真

西岡京治さん

・ヒマラヤ地方の農業の様子を知っていた。
・ブータンの言葉を話せた。

中村恵理さんの
写真

中村恵理さん
・理学療法士
・元JICA海外協力隊
・現在ユニセフ職員

世界の未来と日本の役割 ②

国際連合

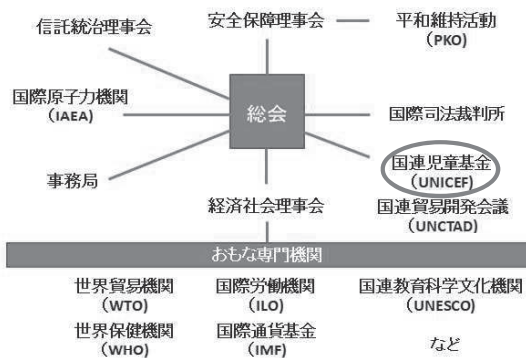
国際連合本部
の写真



設立
1945年
本部
アメリカ ニューヨーク

国際連合憲章

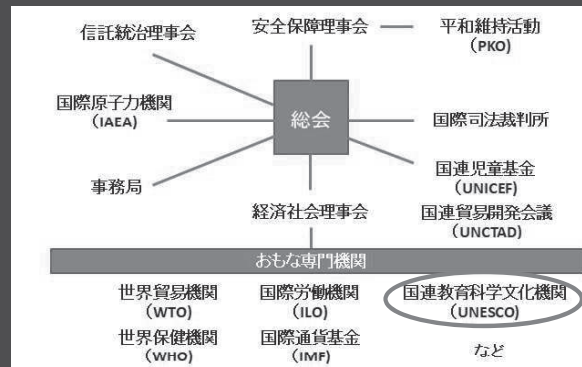
- ・世界の平和と安全を守り、国と国との争いは、話し合いによって解決する。
- ・すべての国は平等であり、世界の国々がなかよく発展していくことを考える。
- ・経済や社会、文化などの点で起きた問題を解決するために、各国は協力する。



unicef
子どもと先生の広場
のページ

中村恵理さんの
写真

中村恵理さん



世界の未来と日本の役割 ③

教科書P. 96
「第二次世界大戦後の主な国際紛争」
の図

自衛隊員が
道路を修復
している
の写真

道路を修復
している

自衛隊員が
道路を修復
している
の写真

道路を修復
している

緒方貞子さんが
難民の人たちに
手を振っている
写真

難民の人たちに
支援している

世界の未来と日本の役割 ④

世界には、どのような
環境問題があるだろう



国際連合は、持続可能な社会を
目指すために、SDGsという目標
を設定しました。

コンビニからSDGsを考えよう。



様々な企業がSDGs達成に向けて
活動している。

味の素の
「ガーナ、マラウイに
おける栄養改善プロ
ジェクト」
の写真

よしもとSDGs花月
in エコプロ2019
の写真

SDGs達成のために、
様々な企業が活動している。

コンビニの
ゴミ箱
の写真

コンビニ
弁当が
捨てられて
いる
写真

募金箱
の写真

世界の未来と日本の役割 ⑤

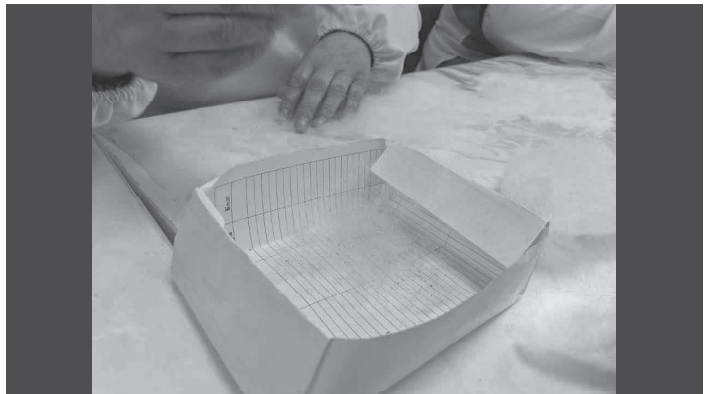
キルギスのカラ・シャル村の人々は
どのような生活を送っているだろう。






予想しよう。

JICAが行っている活動の一つです。
どんなことをしているか考えましょう。






働いている人と
相談しながら、
勤務時間や作る
個数を決めています。

A black and white photograph of a woman with a scarf, smiling and talking to someone who is partially visible in the background.

工場のおかげで、
出稼ぎに行かず、
家族と一緒に生活
することができます。
うれしいです。

A black and white photograph of a man and a woman standing together. The man is on the left, wearing a plaid shirt, and the woman is on the right, wearing a dark top and a headscarf.

他にも活動している人がいます。

私は、キルギスの学校で道徳を教えています。また、キルギスの役所の人と協力して、授業の方法や内容を教える研修会を開いています。上から目線にならないように、伝え方に気を付けています。



世界の未来と日本の役割 ⑥

羽生結弦選手が
金メダルを
獲得している写真

吉野彰さんが
ノーベル賞を
受賞している写真

スポーツや文化を通して
国際交流している。

国際交流するときに
大切なことは何だろう。

バーンガ をしよう。

ルール

- ・会話禁止。
- ・1回目は、じゃんけんで勝った人が「親」。
- ・2回目以降は、勝った人が「親」。

ルール

- ・親は、カードを同じ枚数ずつ配る。
- ・1枚ずつ順番にカードを出す。

ルール

- ・最初にカードがなくなった人が勝ち。
- ・途中で終わったら、カードの枚数が少ない順に、順位を決める。

会話禁止

ルール用紙を見て
練習してみましょう。

本番をしてみましよう。

会話禁止

やってみた感想を
話し合いましよう。

世界の未来と日本の役割 ⑦

学習したことをもとにして、
世界平和と発展のために、
日本や私たちができることを
意見文にまとめよう。